

# 新



# 年

明けましておめでとうございます。いつも掛川市立総合病院をご愛顧くださいます。心より感謝申し上げます。

### スローライフの掛川市に

昨年は、台風が十回も上陸し豪雨が襲い、新潟中越地震も加わり、自然大災害の相次いだ年でありました。被災者の皆様には心よりお見舞い申し上げます。

一方、掛川市は、四月に市制五十周年・生涯学習都市二十五周年を迎え、「歩行文化・スローライフ・報徳文化都市宣言」を行いました。健康長寿には、歩くこととスローライフが一番です。その研究集会として、塩の道や二宮尊徳、お茶の文化・効能など、これからの掛川市の発展に資する全国シンポジウムを五回も開きました。



## 新掛川市の誕生とともに

掛川市長・榛村 純

### 本年は 新都市誕生の年

いよいよ本年四月一日、掛川市は大東町・大須賀町と合併し、「新・掛川市」となります。その新しい掛川市は、人口十一万五千人、面積二百六十六平方キロ、緑茶生産は五千八百トンで日本一、街道文化と三つのお城の豊かな歴史を有し、工業出荷額は一兆二千億円、海と里山の自然の中で農住商工と福祉レクリエーション施設が美しく共存した力強い都市となります。そして、健康で平和なコミュニティを形成し、夢・未来を創る都市に成長することが期待されます。

本年も患者様中心の医療サービスの提供に努め、地域中核病院の使命に込めると共に、東京女子医大との連携、さらに健康安心サロンによる予防医学の充実にも一層努めます。

### 患者中心の 医療サービスに

一方、病院経営の面では、

診療報酬の減額改定と医師不足問題など、地方病院の経営環境はより厳しい状況にあります。十八万診療圏域のニーズに的確にこたえるべく、クリティカルパスの拡充普及など、さらなる患者中心の医療充実と医師の確保が求められます。

昨年は、健康安心サロンへの乳房用X線撮影装置設置を始めとする医療機器等の更新充実や、設備面ではリハビリ室の作業療法の実施のため、機能訓練室増築工事を行いました。

今後とも、より高度な医療と「愛三六五日」を合い言葉に病院五族のチームワークで、地域のみなさまから全幅の信頼を寄せられるよう専心努力いたします。

ますますのご愛顧、ご支援をよろしくお願い申し上げます。